



草花のしおり

場所	学校団体： クラフト室 実習室		 
	家族： サービスセンター前		
時間	1時間～1時間30分		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	各部屋 席数 48
準備物			
【利用者】しおりに入れたい草花等、ぞうきん、軍手 活動に適した服装、救急用品			
【自然の家】材料（ラミネートシート、折り紙、リボン、 自然の家シール）ラミネーター、ピンセット、 タイル、一穴パンチ、ハサミ、電子レンジ、ティッシュ			

プログラムの概要・ねらい

自然の家に咲く花や樹木の葉を、きれいなしおりに仕上げる。採集する過程では、草や葉の形や堅さ、色など普段は見過ごしていた植物の姿に気付くことができる。また、しおりにすることで、普段もその姿に触れることができる。

①準備

学校団体：材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付にて受け取る。※セット数を確認する。

家族：材料をサービスセンターで購入し、備品を受け取る。





自然の中で、しおりに入れたい草花を探し、手帳や本で押し花にする。

時間がないときには、電子レンジを使って乾燥させることもできる。

（下記では電子レンジを使用する場合の方法を紹介する。）

②実施の流れ

【時間】

- | | | |
|------|--|---|
| 0:00 | 説明 |  |
| 0:05 | 屋外に出て、しおりに入れたい草花を探してくる。
その際、生きている草花を必要以上に採集しないように指導する。 | |
| 0:20 | 採ってきた草花を乾燥させる。
①タイルの上にティッシュを置き、その上に草花を載せる。(写真①)
②ティッシュを折り返して、草花を挟む。(写真②)
③もう1枚のタイルを載せ、ティッシュと植物を挟み込む。(写真③) | |
| 0:25 | 挟み込んだタイルごと電子レンジに入れ、約1分間加熱し、水分をとる。
水分が残っている場合は、再度加熱し様子を見る。
※取り出す時にはタイルが熱くなっているので、軍手をして、十分に注意をする。 | |
| 0:30 | 乾燥した草花を、折り紙と一緒にラミネートシートの中に配置する。
紙を入れなければ透明な感じを強調でき、千代紙を入れれば、紙の模様と植物のコントラストを楽しむことができる。
※ラミネートシートの端ぎりぎりに配置すると、シートが閉じないので注意をする。
※ラミネーターの故障防止のため、厚すぎるものを入れないようにする。 |  |
| 0:45 | ラミネーターを温めておき、ラミネートシートの閉じている方を先にしてラミネーターに差し込む。 | |
| 1:00 | 加工が終了したら、パンチで好きな場所に穴を開け、そこにリボンを通す。(写真④) |  |
| 1:15 | 片付け・終了
※草花を乾燥させずにそのまま貼り付けることもできるが、時間が経つと変色する場合がある。
※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビ等に遭遇した場合の注意を徹底する。
(別紙 注意が必要な動植物参照) | |
| | |  |

③後片付け

学校団体：ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。(掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照)

工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。

クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。

家族：机をきれいにし、備品をサービスセンター受付へ返却する。